

- 中丹支援学校（小学部低学年・生活単元学習）
 - ・単元計画シートを使ったため教科の内容を意識することができた。
 - ・単元計画シートを作成後、児童たちのアイデアが広がったため、当初の計画とは変わったが、ねらいを変えず単元の内容を広げることができた。

- 向日が丘支援学校（小学部低学年・遊びの指導 / 小学部高学年・生活単元学習）
 - ・授業づくりを丁寧にするための時間があるとよい。
 - ・単元計画シートを書くハードルが高いと感じたが、書き出すと頭の中が整理されてスムーズに作成することができた。

- その他
 - ・生活単元学習と遊びの指導の違い（それぞれの特徴）について整理する。

5 研究成果の波及方法

- 単元計画シート
研究授業や日々の授業づくりに活用できるよう、自校の研究部と連携して導入を図った。

6 研究（活動）実績*

| 年月 | 研究（活動）内容（具体的に記載） | 活動場所 |
|------------|---|----------|
| 令和7年 7月 | コミュニティ発足会 顔合わせ、研究目的の確認、今後の研究活動について、単元計画シートについて、各校の現状や課題の把握 | 丹波支援学校 |
| 10月 | 研究会Ⅰ 授業見学（遊びの指導）及び意見交流 | 丹波支援学校 |
| 11月 | 研究会Ⅱ 授業見学（生活単元学習）及び意見交流 | 中丹支援学校 |
| 11月 | 研究会Ⅲ 授業見学（遊びの指導、生活単元学習）及び交流 | 向日が丘支援学校 |
| 1月 | 研究会Ⅳ 研究のまとめ | 丹波支援学校 |

| | | |
|----|--|-------------|
| | 研究会 I ～ III の授業見学及び交流で得られた知見のまとめ、単元計画シートとそれに基づく授業づくりについて | |
| 1月 | コミュニティ報告会 研究成果の報告 | 京都府総合教育センター |

7 予算執行状況

- (1) 旅費は、旅費執行状況報告書に記載のとおり
- (2) 図書については、使用していない。

8 他校へ勧めたい実践又は他校へ呼びかけたい共同研究（できるだけ具体的に）

| テーマ | 単元計画シートを活用した授業づくり |
|------------------|---|
| 育てたい資質能力 | ・各教科等を合わせた指導における資質・能力の3つの柱 |
| 実践又は研究の 具体的内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等を合わせた指導において、取り扱う教科の内容を明確にし、指導のねらいや評価の視点を共有する。 ・単元計画シートの普及と活用を進め、計画に基づいた授業づくりを行う。 ・「学習指導要領を使おう・読もう」という意識を高め、その重要性を周知する。 ・遊びの指導だからこそ学べること、生活単元学習だからこそ実現できる学びのポイントを整理し、共有する。 |